

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第29期中間期(平成18年4月1日より平成18年9月30日まで)の決算をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期は、厳しい経営環境が続く中、業績を回復し黒字転換を図るべく、生産性の向上とコスト削減による経営の合理化に注力してまいりました。しかしながら、HS事業部門において経済産業省の指導を受ける事案が起きた影響を受け、減収減益となりました。関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけし、信頼を損ねる結果となりましたことを、深くお詫び申し上げます。

下半期の見通しにつきましては、「経営合理化計画」が本格的に寄与することもあり、より一層の合理化、コスト低減に努めるとともに、コンプライアンス強化を徹底して行い、お客様満足の向上を図り、業績回復に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、どうぞ変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成18年12月



株式会社サニックス
代表取締役社長

泉 西 伸一



[会社概要] (平成18年9月30日現在)

商号	株式会社サニックス
本社	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立	昭和53年9月
資本金	126億1,625万円
従業員数	2,269人

株式会社サニックス

福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号〒812-0013

TEL.092-436-8870

URL.<http://www.sanix.co.jp/>

SANIX

第29期中間報告書

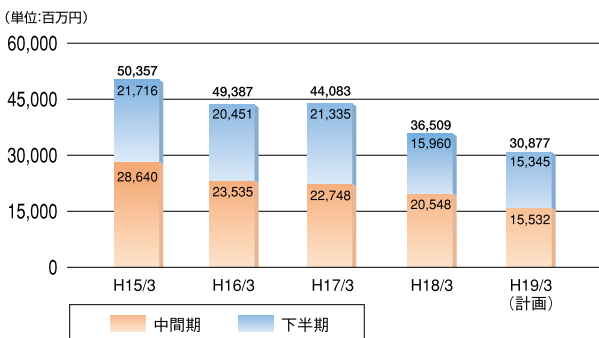
平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

事業概況

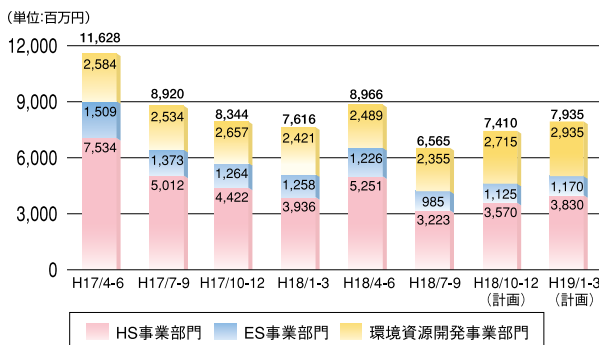
当グループは、HS事業部門において、経済産業省より特定商取引法に基づき、平成18年7月8日から3ヶ月間6店舗の業務停止を含む行政処分を受けましたが、再発防止に向け、コンプライアンス体制を見直し、管理体制を再構築してまいりました。一方で、当該行政処分の業績への影響は大きく、当グループとして、抜本的に業績を建て直すべく、「経営合理化計画」を策定し、店舗統廃合や人員削減、給与カットなどを実施し、損益分岐点の引き下げを図りました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、15,532百万円と前年同期比24.4%減少しました。利益面では、各事業部門とも、経営合理化効果によりコスト低減は進んだものの、限界利益率の高いHS事業部門の減収幅が大きかったことで、同事業部門の利益額が減少し、1,519百万円の経常損失となりました。当期純損益については、1,579百万円の当期純損失となりました。

■連結売上高の推移



■部門別売上高の四半期ごとの推移



■連結貸借対照表の要旨

単位:百万円

項目	期別	第29期中間 (H18/9)	第28期中間 (H17/9)	第28期 (H18/3)
資産の部				
流動資産		5,172	10,401	7,307
固定資産		29,504	30,828	30,410
資産合計		34,677	41,230	37,718
負債の部				
流動負債		11,268	14,016	11,671
固定負債		5,509	7,829	9,366
負債合計		16,778	21,846	21,037
純資産の部				
純資産合計		17,898	19,384	16,681
負債及び純資産合計		34,677	41,230	37,718

■連結損益計算書の要旨

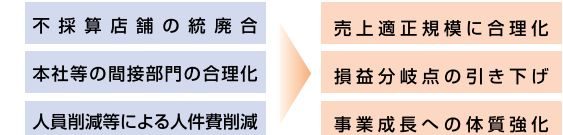
単位:百万円

項目	期別	第29期中間 (H18/9)	第28期中間 (H17/9)	第28期 (H18/3)
売上高		15,532	20,548	36,509
(HS事業部門)		8,475	12,546	20,905
(ES事業部門)		2,212	2,883	5,406
(環境資源開発事業部門)		4,845	5,118	10,198
売上原価		8,700	10,765	20,048
売上総利益		6,832	9,782	16,461
販売費及び一般管理費		8,305	10,607	19,844
営業損失(△)		△1,473	△824	△3,382
営業外収益		64	203	288
営業外費用		110	219	385
経常損失(△)		△1,519	△840	△3,479
特別利益		225	1,379	1,335
特別損失		192	1,746	1,960
税金等調整前中間(当期)純損失(△)		△1,487	△1,207	△4,103
法人税、住民税及び事業税		60	90	146
法人税等調整額		29	△9	△6
少数株主利益		2	4	9
中間(当期)純損失(△)		△1,579	△1,292	△4,252

トピックス

■「経営合理化計画」の概要

当グループは、経営再建を図るべく「経営改革委員会」を組成し、経営体制の抜本的な見直しと、大胆かつ積極的なコスト構造の改革に取り組むことで、収益性を向上させ安定的利益確保を目指してまいります。下半期以降「経営合理化計画」によるコスト削減効果が本格的に寄与し、損益分岐点は中間期に比して更に引き下がる見込みです。



所有者別株式状況 (平成18年9月30日現在)

金融機関	4,571	9.61
証券会社	1,250	2.63
その他の法人	10,728	22.56
外国法人等	8,157	17.15
個人その他	22,853	48.05
合計	47,560千株	100.00%

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
	中間配当のある場合は毎年9月30日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081
	東京都江東区東砂七丁目10番11号
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
	野村證券株式会社 全国本支店
公告掲載方法	日本経済新聞
	当社は、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページに掲載しております。
	http://www.sanix.co.jp/